



2010-2011年度 国際ロータリー 第2790地区

## 第4分区 ロータリー情報研究会 報告書

テーマ 「私達は 何故 週一度ロータリーに集うのか」

木更津ロータリークラブ  
上総ロータリークラブ  
富津ロータリークラブ  
富津中央ロータリークラブ  
木更津東ロータリークラブ  
袖ヶ浦ロータリークラブ  
富津シティロータリークラブ  
君津ロータリークラブ

日時：2010年10月18日（月）15:00点鐘

場所：ホテル千成

主催：君津ロータリークラブ

第4分区 ロータリー情報研究会 プログラム

場所：ホテル千成 2階  
 進行：坂井正視  
 （君津RC）

14:30	登録開始		
15:00	開会点鐘	第4分区ガバナー補佐	北見洋司 （君津RC）
	国歌斉唱「君が代」 ロータリーソング斉唱「奉仕の理想」 開催趣旨挨拶	第4分区ガバナー補佐	北見洋司 （君津RC）
	ホストクラブ会長挨拶	君津ロータリークラブ会長	阿部昭広
15:15	地区クラブ研修委員長挨拶	地区クラブ研修委員長	海寶勘一 （千葉西RC）
15:20	地区委員卓話	地区クラブ研修委員会	堀内正一 （木更津RC）
	テーマ「私達は 何故 週一度ロータリーに集うのか」		
15:40	休憩		
15:45	グループ討議・意見交換		
16:15	発表（グループごとに討議した内容の発表）		
17:05	講評	第4分区ガバナー補佐	北見洋司 （君津RC）
17:10	総評（まとめ）	地区職業奉仕委員長 （パストガバナー）	土屋亮平 （松戸RC）
17:20	閉会点鐘	第4分区ガバナー補佐	北見洋司 （君津RC）

~~~~~ 会場移動 ~~~~~

懇親会

場所：ホテル千成 3階  
 進行：井上正夫  
 （君津RC）

|       |         |                |                |
|-------|---------|----------------|----------------|
| 17:30 | 開会挨拶・乾杯 | パストガバナー        | 秋元秀夫<br>（君津RC） |
| 18:30 | 中締め     | 君津ロータリークラブ直前会長 | 黒岩靖之           |

## 第4分区 ロータリー情報研究会 出席者名簿

### 【 地区職業奉仕委員会 】

|          | 氏 名     | 所属クラブ | テーブル |
|----------|---------|-------|------|
| 職業奉仕委員長  | 土 屋 亮 平 | 松戸RC  | A    |
| クラブ研修委員長 | 海 寶 勘 一 | 千葉西RC | F    |
| クラブ研修委員  | 堀 内 正 一 | 木更津RC | D    |
| クラブ研修委員  | 川 名 光 俊 | 館山RC  | I    |

### 【 木更津ロータリークラブ 】

| テーブル  | 役 職  | 氏 名       | テーブル | 役 職 | 氏 名      |
|-------|------|-----------|------|-----|----------|
| B     | 会 長  | 石 井 志 郎   | G    |     | 佐 藤 昭    |
| (懇親会) | 幹 事  | 石 井 久 喜   | H    |     | 本 吉 武 久  |
| C     |      | 坂 本 巖     | I    |     | 藤 谷 良 弘  |
| F     |      | 梶 暉 芳     | J    |     | 前 原 佳 代  |
| E     |      | 小 安 洋 司   | D    |     | 須 藤 春 雄  |
| A     |      | 山 野 井 正 巳 | J    |     | 黒 田 雅 俊  |
| D     | 地区委員 | 堀 内 正 一   | G    |     | 元 木 晴 雄  |
|       |      |           |      |     |          |
|       |      |           |      | 事務局 | 石 川 み どり |

### 【 上総ロータリークラブ 】

| テーブル | 役 職  | 氏 名       | テーブル | 役 職 | 氏 名     |
|------|------|-----------|------|-----|---------|
| C    | 会 長  | 田 中 久 雄   | E    |     | 田 丸 方 敏 |
| G    |      | 白 熊 大     | A    |     | 梅 原 正 一 |
| H    | 地区委員 | 田 中 伸 之 介 | J    |     | 蓮 波 秀 雄 |
|      |      |           |      |     |         |

### 【 富津ロータリークラブ 】

| テーブル | 役 職 | 氏 名     | テーブル | 役 職 | 氏 名       |
|------|-----|---------|------|-----|-----------|
| C    | 幹 事 | 座 間 林 司 | G    |     | 角 田 義 夫   |
| D    |     | 神 子 誠 一 | E    |     | 鈴 木 俊 吉   |
| A    |     | 池 田 岩 夫 | H    |     | 黒 川 治 夫   |
| B    |     | 本 間 英 一 | J    |     | 神 子 恒     |
|      |     |         |      |     |           |
|      |     |         |      | 事務局 | 茂 木 加 代 子 |

【 富津中央ロータリークラブ 】

| テーブル | 役職 | 氏名     | テーブル | 役職  | 氏名    |
|------|----|--------|------|-----|-------|
| D    | 会長 | 原田雅式   | I    |     | 三枝一雄  |
| A    | 幹事 | 平川恵敏   | B    |     | 須藤隆   |
| F    |    | 千葉一利   | E    |     | 若鍋武良  |
| H    |    | 大須賀美智男 | C    |     | 山田昌雄  |
|      |    |        |      |     |       |
|      |    |        |      | 事務局 | 村田喜身江 |

【 木更津東ロータリークラブ 】

| テーブル  | 役職 | 氏名   | テーブル | 役職       | 氏名   |
|-------|----|------|------|----------|------|
| A     | 会長 | 青木和義 | I    |          | 坂井健治 |
| E     | 幹事 | 白井秋夫 | H    |          | 地曳洋治 |
| B     |    | 青山俊  | J    |          | 勝呂泰樹 |
| C     |    | 浅野文夫 | B    |          | 鈴木克己 |
| F     |    | 内田重  | C    |          | 鈴木正毅 |
| D     |    | 内田稔  | D    | ガバナーエレクト | 山田修平 |
| G     |    | 大澤藤満 | F    |          | 前田三郎 |
| (懇親会) |    | 真板益夫 |      |          |      |
|       |    |      |      | 事務局      | 荒井直美 |

【 袖ヶ浦ロータリークラブ 】

| テーブル | 役職 | 氏名   | テーブル | 役職  | 氏名   |
|------|----|------|------|-----|------|
| E    | 会長 | 内藤芳夫 | D    |     | 田中久文 |
| B    | 幹事 | 餅田則雄 | B    |     | 佐藤信吉 |
| A    |    | 茂木芳和 | C    |     | 高岸泰弘 |
| C    |    | 飯島俊一 | F    |     | 宮本忠  |
| D    |    | 鈴木洋次 | G    |     | 中村恒明 |
| J    |    | 鍋島哲  | H    |     | 伊藤秀樹 |
| G    |    | 鈴木勝江 | I    |     | 鴫田政明 |
| H    |    | 鈴木利男 | J    |     | 鈴木貴志 |
| I    |    | 小林裕美 | G    |     | 田中眞治 |
| F    |    | 松尾昭憲 | E    |     | 鈴木一弘 |
| A    |    | 高村和朗 |      |     |      |
|      |    |      |      | 事務局 | 及川幸子 |

【 富津シティロータリークラブ 】

| テーブル | 役職 | 氏名   | テーブル | 役職  | 氏名   |
|------|----|------|------|-----|------|
| F    | 幹事 | 和田昇  | E    |     | 西海健二 |
| B    |    | 中島清志 |      |     |      |
| I    |    | 田中孝夫 |      |     |      |
|      |    |      |      | 事務局 | 秋山和子 |

【 君津ロータリークラブ 】

| テーブル | 役職     | 氏名   | テーブル | 役職   | 氏名   |
|------|--------|------|------|------|------|
| J    | 会長     | 阿部昭広 | E    |      | 鈕持純一 |
| H    | 幹事     | 川名正志 | J    |      | 坂井正視 |
| B    | パストガバナ | 秋元秀夫 | G    |      | 嶋哲男  |
| I    |        | 阿部正雄 | I    |      | 鈴木荘一 |
| D    |        | 天野繁  | B    |      | 鳥井三知 |
| D    |        | 井上正夫 | F    |      | 早見秀一 |
| C    |        | 歌原英明 | G    |      | 廣田二郎 |
| A    |        | 奥村裕彦 | A    |      | 松永久義 |
| E    |        | 小幡倅  | F    | 地区委員 | 三浦勇  |
| C    | ガバナ補佐  | 北見洋司 | H    |      | 吉野和弘 |
| I    |        | 黒岩靖之 | J    |      | 土山博志 |
|      |        |      |      |      |      |
|      |        |      |      | 事務局  | 大滝和子 |

【 第4分区ロータリー情報研究会 登録会員数 】

|               |     |
|---------------|-----|
| 木更津ロータリークラブ   | 13名 |
| 上総ロータリークラブ    | 6名  |
| 富津ロータリークラブ    | 8名  |
| 富津中央ロータリークラブ  | 8名  |
| 木更津東ロータリークラブ  | 14名 |
| 袖ヶ浦ロータリークラブ   | 21名 |
| 富津シティロータリークラブ | 4名  |
| 君津ロータリークラブ    | 22名 |
| 第4分区8クラブ 合計   | 96名 |

# 第4分区 ロータリー情報研究会 席次表

場所：ホテル千成 2階

|             |             |              |             |
|-------------|-------------|--------------|-------------|
| クラブ研修<br>委員 | クラブ研修<br>委員 | クラブ研修<br>委員長 | 職業奉仕<br>委員長 |
| 川名光俊        | 堀内正一        | 海寶勘一         | 土屋亮平        |

演壇

|               |            |
|---------------|------------|
| 第4分区<br>ガバナ補佐 | 君津RC<br>会長 |
| 北見洋司          | 阿部昭広       |

|      |
|------|
| 司会進行 |
| 坂井正視 |

A

土屋亮平(地区)  
山野井正巳(木更津)  
梅原正一(上総)  
池田岩夫(富津)  
○平川恵敏(富津中央)  
◎青木和義(木更津東)  
茂木芳和(袖ヶ浦)  
高村和朗(袖ヶ浦)  
松永久義(君津)  
奥村裕彦(君津)

B

◎石井志郎(木更津)  
本間英一(富津)  
須藤 隆(富津中央)  
青山 俊(木更津東)  
鈴木克己(木更津東)  
○餅田則雄(袖ヶ浦)  
佐藤信吉(袖ヶ浦)  
中島清志(富津ｼﾝｲ)  
秋元秀夫(君津)  
鳥井三知(君津)

C

坂本 巖(木更津)  
◎田中久雄(上総)  
○座間林司(富津)  
山田昌雄(富津中央)  
浅野文夫(木更津東)  
鈴木正毅(木更津東)  
飯島俊一(袖ヶ浦)  
高岸泰弘(袖ヶ浦)  
北見洋司(君津)  
歌原英明(君津)

D

堀内正一(地区)  
須藤春雄(木更津)  
神子誠一(富津)  
◎原田雅式(富津中央)  
○内田 稔(木更津東)  
山田修平(木更津東)  
鈴木洋次(袖ヶ浦)  
田中久文(袖ヶ浦)  
天野 繁(君津)  
井上正夫(君津)

E

小安洋司(木更津)  
田丸方敏(上総)  
鈴木俊吉(富津)  
若鍋武良(富津中央)  
○白井秋夫(木更津東)  
◎内藤芳夫(袖ヶ浦)  
鈴木一弘(袖ヶ浦)  
西海健二(富津ｼﾝｲ)  
小幡 倅(君津)  
劔持純一(君津)

F

海寶勘一(地区)  
◎梶 暉芳(木更津)  
千葉一利(富津中央)  
内田 重(木更津東)  
前田三郎(木更津東)  
松尾昭憲(袖ヶ浦)  
宮本 忠(袖ヶ浦)  
○和田 昇(富津ｼﾝｲ)  
三浦 勇(君津)  
早見秀一(君津)

G

佐藤 昭(木更津)  
元木晴雄(木更津)  
白熊 大(上総)  
角田義夫(富津)  
大澤藤満(木更津東)  
○鈴木勝江(袖ヶ浦)  
中村恒明(袖ヶ浦)  
田中眞治(袖ヶ浦)  
◎廣田二郎(君津)  
嶋 哲男(君津)

H

本吉武久(木更津)  
◎田中伸之介(上総)  
黒川治夫(富津)  
大須賀美智雄(中央)  
地曳洋治(木更津東)  
鈴木利男(袖ヶ浦)  
伊藤秀樹(袖ヶ浦)  
○川名正志(君津)  
吉野和弘(君津)

I

川名光俊(地区)  
藤谷良弘(木更津)  
三枝一雄(富津中央)  
◎坂井健治(木更津東)  
小林裕美(袖ヶ浦)  
鴫田政明(袖ヶ浦)  
田中孝夫(富津ｼﾝｲ)  
阿部正雄(君津)  
○黒岩靖之(君津)  
鈴木荘一(君津)

J

黒田雅俊(木更津)  
前原佳代(木更津)  
蓮波秀雄(上総)  
○神子 恒(富津)  
勝呂泰樹(木更津東)  
◎鍋島 哲(袖ヶ浦)  
鈴木貴志(袖ヶ浦)  
坂井正視(君津)  
阿部昭広(君津)  
土山博志(君津)

事務局員

石川みどり(木更津)  
茂木加代子(富津)  
村田喜身江(中央)  
荒井直美(木更津東)  
及川幸子(袖ヶ浦)  
秋山和子(富津ｼﾝｲ)  
大滝和子(君津)

\*各テーブルごとの役割

|             |
|-------------|
| ◎：発表者(討議進行) |
| ○：記録者(報告書用) |

## 第4分区ガバナー補佐 挨拶



国際ロータリー 第2790地区

第4分区 ガバナー補佐

北見 洋司 様  
( 君津ロータリークラブ )

第4分区のロータリー情報研究会が、成功裏に開催できましたことを、分区のロータリアンの皆様に心より御礼申し上げます。

本年度は、織田ガバナーの方針により「私達は何故週一度ロータリーに集うのか」というテーマのもとに、第4分区のロータリアン全員を対象として、今回の情報研究会を開催させていただきました。

参加されたロータリアンの皆さまには、時間が短く各人の意見を十分に述べる事ができないというご不満もあったかもしれませんが、これを機会に各クラブにおいてロータリーに関する意見交換の場を設けていただければ幸いです。

また、クラブにおいて出てきた意見・疑問等で、是非問い合わせをしたいという内容がございましたら、地区クラブ研修委員会へ連絡していただければ、と存じます。

今回は、土屋亮平地区職業奉仕委員長をはじめ、海寶勘一地区クラブ研修委員長、そして卓話を頂いた堀内正一地区クラブ研修委員、および川名光俊地区クラブ研修委員の皆様には、大変貴重な機会を作っていただき、誠に感謝いたしております。今後とも、ご指導をよろしくお願いいたします。

## ホストクラブ会長 挨拶



君津ロータリークラブ 会長  
阿部 昭広

君津ロータリークラブの会長を務めさせていただいております阿部昭広と申します。

第4分区のロータリー情報研究会の開催にあたり、ホストクラブの会長として、一言ご挨拶をさせていただきます。

今年5月に地区職業奉仕委員会よりご連絡があり、今年度のロータリー情報研究会については、ガバナー補佐の輩出クラブにおいて準備・運営をするようにとのことでしたので、関係者の皆様のご協力のもと協議を重ね、本日の開催となりました。

本日は、地区クラブ研修委員長の海寶勘一様より、開催にあたりご挨拶をいただき、地区クラブ研修委員の堀内正一様より、本日のテーマに沿った卓話がございます。その後のグループ討議におきましては、ご参加いただいた皆様に「例会に出席する意義」等について考えていただき、ご意見を出していただければ、織田ガバナーのご意向に沿う情報研究会になるものと思っております。

本日の開催を迎えるまで様々な形でのご指導をいただきました地区職業奉仕委員会の皆様、第4分区内の各クラブ会長・幹事の皆様、そして第4分区の運営に携わっておられる皆様に感謝を申し上げ、ご参加いただきました皆様にとって有意義な情報研究会となりますことを期待して、ご挨拶とさせていただきます。

## 地区クラブ研修委員長 挨拶



国際ロータリー 第2790地区

クラブ研修委員会 委員長

海寶 勘一 様  
(千葉西ロータリークラブ)

第4分区8クラブの皆様、こんにちは。

地区職業奉仕委員会に属し、クラブ研修委員会委員長であります、千葉西ロータリークラブ所属の海寶勘一です。

只今、第4分区北見ガバナー補佐さんと君津ロータリークラブ阿部会長さんのご挨拶にもありましたが、今年度は織田ガバナーから「スタイルを磨こう」という地区テーマを頂き、そのためには職業人としてのロータリアンの基本である、職業奉仕をよく理解して、一層ロータリーライフを有意義にさせていこう、と委員会活動がスタートされております。

再度のご説明になりますが、各14分区でロータリー情報研究会を開催して頂いて、分区内の皆様のグループ討議において、「私達は何故週一度ロータリーに集うのか」というテーマをもって、自由闊達なグループ討議をして頂きたいと思っております。

土屋地区職業奉仕委員長が、いつも口癖に申される言葉は、ロータリーの職業奉仕をもっと簡易に受け止めて、ご自身が携わっている事業経営の理念や姿勢そのものを例会で集う仲間と共に自己研鑽をすることです、と仰っております。

毎週の例会では、形式や形骸化されたことだけではなく、もっと活発な会員同士の交流をもって、研鑽や修練や感化しあうことができるようにしたいものです。

これから、堀内正一地区委員の卓話を参考にされて、是非とも意義のあるグループ討議をして頂ければ幸甚ですし、先ずはご自身の事業繁栄に結び付けて一層の職業奉仕の心を磨いてほしいものです。

最後になりましたが、改めまして、第4分区のロータリー情報研究会を設営して頂きました、北見ガバナー補佐さんと君津ロータリークラブ阿部会長さんには多大なご支援を賜りましたことに、心から感謝と御礼を申し上げます。

ご理解とご尽力を下さり、誠にありがとうございました。





卓話テーマ

「私達は 何故 週一度ロータリーに集うのか」

国際ロータリー 第2790地区

クラブ研修委員会 委員

堀内 正一 様  
(木更津ロータリークラブ)

皆さんこんにちは。  
只今ご紹介いただきました地区職業奉仕委員会のクラブ研修委員を仰せつかりました堀内と申します。

所属クラブは木更津ロータリークラブで、職業分類は建築資材、主にワイヤーロープの加工・販売を職業としております。

本日は、第4分区の「ロータリー情報研究会」で卓話をさせて頂く機会を頂戴いたしまして誠にありがとうございます。

私は、昨年度地区広報・ロータリー情報委員会の一員として、本日お見えの館山ロータリークラブの川名さんと共に「決議23-34からロータリーを知ろう」をテーマに第4分区と第5分区合同でロータリー情報研究会を開催し、お手伝いをさせて頂きました。

今年度は、地区職業奉仕委員会クラブ研修委員として、お手伝いをさせて頂くことになりました。もとより浅学非才の私ですので、あくまで私の役割はとかく難しいと言われる職業奉仕について、土屋パストガバナーを委員長とします職業奉仕委員会で私なりに勉強したことを基に、例会出席との関係を出来る限り解り易く皆様にお伝えすることが出来ればと考えています。

そして、この後に予定されていますグループディスカッションでも私自身お仲間に入り皆様と一緒に勉強させて頂きながら、実りある情報研究会にすることと思っています。

さて、本日の「ロータリー情報研究会」のテーマであります「私達は何故週一度ロータリーに集うのか」ですが、私は今年でロータリー歴24年目を迎えます。正直、過去に何故例会に出席するのかと考えた事ありませんでした。それは、規則であると言うことばかりではなく、私の所属する木更津ロータリークラブは今年創立58年と千葉県で2番目に歴史のあるクラブであり当時100%出席が義務化されておりました。従って入会面接時に先輩からきつく守る様に言われておりました。当然、私のスケジュール帳には先ず例会日を予定として記入しておりましたし、私自身例会出席が習慣のようになっておりました。私は、今から24年前40歳の時入会させて頂きました。まだまだ当時はプレーイングマネージャーとしてお客様の処をはじめあちこち飛び回っておりましたので、ホームクラブ出席が滞りがちでした。その頃は前後1週間のメイクアップしか認められませんでしたので、よく第4分区内のいくつかのロータリークラブに訪問させて頂きました。お蔭様で他のクラブ会員との出会いや新しい知識、発見がありとても勉強になりました。あるクラブでは、私が頻りにメイクアップするので、転籍したらと冗談を言われたこともありました。

木更津ロータリークラブは1972-1973年度から1999-2000年度までの間28年間出席率100%を続けておりました。従いまして地区大会では、常に出席優秀クラブとして表彰された常連クラブでした。

こんな設立当時のエピソードを先輩会員から聞いたことがあります。ある会員が体調を壊し病院に入院して例会に出席できないでいると、その会員の推薦者と出席委員長が病室に来て、いきなり点滴を外し着替えさせて、千葉ロータリークラブまでメイクアップに連れて行ったこともあるそうです。

今ではとても考えられませんが、私はある時なぜこんなに100%にこだわるのかと先輩ロータリアンに尋ねたことがありました。そうしましたら「君は何を言っているんだい。ロータリーは例会出席が第一で、普段から手続要覧を読み勉強し、例会は自分を

磨く場所なんだよ。」と言われました。また、ある会員は「自分は手続要覧を事務所と寝室、そしてトイレに置いて常に読んでいますよ。」と言われ、ビックリしたことを覚えています。

然しながら、100名近くいた会員も徐々に減少する中、会員増強・会員維持を優先しようということで、残念ながら2000-2001年度以降100%は途切れしました。その後は、皆様もよくご存じの様にメイクアップが前後2週間まで可能になりましたが、一度100%が途切れますと出席率は改善されるより、残念ながら年々低下傾向にあります。

「ロータリーも時代と共に変化しなければならない」と創立者ポール・ハリスが述べておられるし、ダーウィンが「種の起源」の中で書いた「この世の中で生き残れるものは最も強いものではなく、最も変化に適応したものが生き残れる」という言葉にありますように、ロータリーは会員資格・出席規定等を3年毎に開催される規定審議会で改定してきました。

しかし、このロータリーの根源に関わる改定も果たして出席率の向上や会員増強の為になっているのでしょうか？

その効果に疑問がありますし、私はむしろ不易流行、変えてはいけないものと変えなければならぬものをもっと精査し、十分見極める必要があったように思います。

例会は、会員一人一人が作っていく場であります。

従って、会員の出席がなければ当然例会は成り立ちません。例会出席は、会員自らの目的意識の問題、心の持ちようではないかと思えます。それでは、どの様な目的意識をもって例会に出席すれば良いのでしょうか？

ロータリアンには幾つかの守るべき責任がある、と言われてています。

例会出席・会費の納入・「ロータリーの友」の購読の他に、最も重要なものに皆様が入会時に受諾された「ロータリーの綱領」を守ることです。今年度織田ガバナーが特に強調されておられることの一つに、ロータリーの綱領(object of Rotary)即ち直訳語で「ロータリーの目的」を正しく理解することが重要であると述べられておられます。

ロータリーの綱領の主文には「有益な事業の基礎として奉仕の理想を鼓吹し、これを育成し」と書かれていますが、ここで「有益な事業の基礎」という言葉で表示しております通り、ロータリーの綱領の主文は職業奉仕について述べている事がわかります。更に付帯事項の第2項に「事業および専門職務の道徳的水準を高めること。あらゆる有用な業務は尊重されるべきであるという認識を深めること。そしてロータリアン各自が業務を通じて社会に奉仕するためにその業務を品位あらしめること。」という規定がありますが、これがまさにロータリーの根幹は職業奉仕にあるとされている根拠でもあります。

数多く存在する奉仕団体の中で、職業奉仕を主体とする団体はロータリークラブ以外には有りません。

前年度RI会長ジョン・ケニー氏は、ロータリーが職業奉仕を失えば単なる奉仕団体でしかない、とはっきり言いきっています。つまり、ロータリーの綱領から判断する限りでは、ロータリークラブは職業倫理の向上を諮る事を目的とした団体であり、奉仕の心を実践する人の集まりであるはずで。

従って、異業種の優れた良質な職業人との出会いの場である例会では、品格の向上を諮り自己研鑽に励み、自分自身の足りない処を仲間の会員から学ぶところと考え、目的意識を持って出席したら良いのでは、と私は思います。

よくロータリーでは親睦が大事だと言われます。親睦なくして奉仕なしとも言われています。ロータリーの親睦とは、元RI会長ビチャイ・ラタクル氏が、単なるフレンドシップではなくフェロウシップであると明確に述べておられるように、互いに週一回の例会の場で接することにより自己研鑽をし、道徳心の高揚を諮る事だと思います。もちろん、フレンドシップの範疇に入ると思われる親睦会や飲食会、ゴルフ会も会員同士が打ちとけ合う手段であり重要ではありますが、あくまで一つの手掛かりと考えられます。

従って、このフェロウシップとフレンドシップをバランス良く調和してこそ、素晴らしいロータリー活動ができるものだと思います。

選ばれた良質な職業人が例会で心を磨き、自己研鑽を遂げたそのエネルギーこそが、奉仕の心であります。奉仕の心を持って行動を起こし、その実践の場が職場であり、地域社会であり、国際社会であります。勿論、ロータリアン自身の家庭でもあります。

ロータリークラブが職業人の集まりである以上、会員の事業の安定と発展なしには、ロータリー活動を維持することはできません。自由競争社会で大変厳しい不透明な時代こそ、安定した利潤をあげるには「超我の奉仕」即ち、買い手の立場で思い遣り売り手の立場で行動する職業倫理が重要です。そして、クラブの例会では会員同士がお互いに感化し合い切磋琢磨し、自分自身が成長すると共に、学んだことを自分の職場の従業員や業界の人々に広く押し勧めることが大切です。

1954-1955年度のRI会長ハーバード・テラー氏は、1932年倒産寸前の会社を救済する為「四つのテスト」を提唱して、関係者に配布し見事にその会社を再建させました。その後1954年にその著作権がロータリーに移譲され、以後この「四つのテスト」がロータリアン各自の職業奉仕を自己評価する尺度として重要な機能を果たして、今日に至っていることは、皆様もご承知の通りであります。この事は、ロータリーの友の今月号に詳しく掲載されていますが、この歴史的事実を知り、我々は「四つのテスト」を真摯に身につけて、職業の尊厳と価値を高めたいものだと思います。第2790地区の中にはこの「四つのテスト」を例会で朗読しているクラブも多数あるそうですが、素晴らしいことだと思います。

さて、私の職業は冒頭申し上げました通り主にワイヤーロープの販売と加工を生業としています。ワイヤーロープと言いますと皆様なかなか馴染みがないかもしれませんが、産業の命の綱と言われ、様々な分野で使用されています。漁業・林業・造船・鉄鋼・機械と多岐にわたっています。皆様が多く目にするのは、エレベーターやロープウェイ、吊り橋だと思いますが、変わったところではボクシングやプロレスのリング、バレーボールのネットなど、身近なところでも使われています。最近話題になっているところでは、コンクリートから人へと突然中止になりました群馬県ハン場ダムや、東京都墨田区で建設中の高さ634mになる予定の東京スカイツリーの現場などでも使われています。

私共の会社は会長である父の代からですが、父は常々商売は信用と信頼が第一であると申しております。万が一ロープが切れたりしたら、死亡事故等重大災害に繋がるからです。

自由競争ですから、よく社員が見積競争の際に、品質のあまり安定していない安価なロープを導入し、利益をあげようとするのを申し出てきます。私は、その時ロータリーの「四つのテスト」を引き合いに出し「真実かどうか」つまりお客様に安心して安全にお使いになっていただけるロープなのか、また「みんなのためになるかどうか」お客様の為だけでなく、社会の為ひいては自分達の為になるかどうかを良く説明します。食品であれロープであれ、どんな商品でも商売する時に大切なのは信頼であり信用だと思います。

お蔭様で今日まで商売を続けられましたのも、ロータリークラブに入会して学んだお蔭だと思っています。

「ロータリーは人生哲学」であり、利己的な欲求の追求と他人の為に奉仕をしたいとする自己感情の矛盾を上手に調和させようとする学習です。また、真心を持って人を思い遣り、職業を通して世の中に貢献していく事が、ロータリーの「奉仕の理想」言いかえれば「奉仕の理念」になるのだと思います。

米山梅吉翁は「ロータリーの例会は人生最高の修練の場である」と述べておられます。

私は木更津ロータリークラブがとって好きです。週一回の例会が、心の癒しの場になっているだけでなく、長い歴史に培われた友愛と寛容の精神があり、例えば、医師の会員には気軽に自分の健康相談ができ、社会保険労務士の会員には従業員の福利厚生についてお尋ねをすることができます。そして、何と言っても今年98歳になられるチャーターメンバーの会員が毎週必ず出席されています。温故知新ではないですが、私はその会員から昔のロータリークラブと現在のロータリークラブの比較や、色々な人生訓をご指導頂いています。このような素晴らしいクラブに在籍でき本当に幸せな事だと感謝をしています。そして、今では会員同士「生涯ロータリアンでいようよ」とお互いに声を掛け合っているところです。

ロータリーの国際的な会合の入口に掲げられています「入りて学び、出でて奉仕せよ」の言葉は、ロータリーの例会に参加する時にはその例会を通じてロータリアンとしての心を磨くという目的意識をもって参加し、例会を終えてコミュニティに戻れば、奉仕の心を実践に移すことを意味しています。毎週ある例会を待ち遠しく思いながら、出席した例会ではロータリー道を学び「ロータリアンよ一流の職業人たれ」という言葉のもと、私はこれからもアーサー・フレデリック・シェルドンが掲げた「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」という職業奉仕理念を身に付けて実践していこうと思います。

終わりになりましたが、本日のテーマ「私達は何故週一度ロータリーに集うのか」に対しまして、皆様からは様々なご意見があろうかと思いますが、この後のグループディスカッションで、お互いに積極的な意見交換をして頂き、有意義な情報研究会になる事をお祈りしまして、私の拙い卓話とさせていただきます。

ご静聴有難うございました。

## グループディスカッション 討議記録

今回のグループディスカッションでは、予め討議のポイントを2点に絞りそれについて意見交換を行いました。

- ①現状認識 ( 職業奉仕の観点から、週一度の例会は役立っていると思うか? )
- ②例会の意義 ( 何故、週一度の例会に集うのか? )

上記①について、各テーブルでの意見を集計すると次のようになりました。  
( 回答があった人数のみの集計です )

|        |     |         |    |
|--------|-----|---------|----|
| 役立っている | 56名 | 役立っていない | 4名 |
|--------|-----|---------|----|

|   |                                                      |
|---|------------------------------------------------------|
| A | 発表者 : 青木 和義 様 ( 木更津東RC )<br>記録者 : 平川 恵敏 様 ( 富津中央RC ) |
|---|------------------------------------------------------|



①現状認識 ( 職業奉仕の観点から、週一度の例会は役立っていると思うか? )

- ・ロータリーは異業種交流の場であり職業観が変わりそれを職場や家庭に活かせる
- ・色々な職業の人や年齢差を超えて知り合いになれる
- ・会員の卓話が聞け色々な知識が入る
- ・職業奉仕(ロータリーの存在価値)は仕事の信用と信頼につながる
- ・企業の集まりであり自分を高めることができ職業に活かすことができる

②例会の意義 ( 何故、週一度の例会に集うのか? )

- ・毎回ロータリーに出席すると早くロータリーがわかるようになる
- ・ロータリーに入会してよかったと思われる事をやっていくのがよい
- ・落ち穂拾いのようなもので1つだけ種を持って帰ってみて、自分なりに育てて1つでも種が育ってくればもうけもの
- ・出席しているとロータリーが自然と身についてくる
- ・週一度の例会が習慣(生活の一部)になる
- ・ロータリーが楽しみになる

|   |                                                    |
|---|----------------------------------------------------|
| B | 発表者 : 石井 志郎 様 ( 木更津RC )<br>記録者 : 餅田 則雄 様 ( 袖ヶ浦RC ) |
|---|----------------------------------------------------|



①現状認識 ( 職業奉仕の観点から、週一度の例会は役立っていると思うか? )

②例会の意義 ( 何故、週一度の例会に集うのか? )

- ・色々な会員の話は情報源として異業種交流ができる
- ・厳しい中でのロータリー例会への義務出席が習慣となり安心感を得られるようになった
- ・週一度の例会はアンテナであり情報源である
- ・例会出席については入会后色々な動きをしている間に楽しく変わってきた
- ・会員卓話が大変良いので為になる
- ・卓話者である堀内様のロータリーに対する取り組み姿勢がロータリーそのもので大事にしたいと思った
- ・皆様のお話が職業を通して役立っている
- ・週一度の例会出席は必要(全員の意見)

|   |                                                  |
|---|--------------------------------------------------|
| C | 発表者 : 田中 久雄 様 ( 上総RC )<br>記録者 : 座間 林司 様 ( 富津RC ) |
|---|--------------------------------------------------|



①現状認識 ( 職業奉仕の観点から、週一度の例会は役立っていると思うか？ )

- ・この二者択一の設問には無理があると思われる。役立っていないとは思わないが、まだよく分からないという会歴の短い人もいるし、何度も退会しようと思った人もいる。また、積極的に評価する会歴の長い人もいる。ただ、全員が何らかの形でその意義を見出しているの、役立っているという結論になった。

②例会の意義 ( 何故、週一度の例会に集うのか？ )

- ・他業種の意見を聞く良い機会である
- ・問題意識が得られる 得るものが多い
- ・生活の一部となっていて全く違和感がない
- ・人脈ができて活用している
- ・ストレス解消でスッキリする
- ・「一人じゃない」「体温を感じる」というのが実感ではないか

③問題点

- ・例会の回数が多いと感じる人が半数いた
- ・昔は100%出席できる環境だったが、今は不況・高齢化・職業内容などの影響で、難しくなっている。特に40代、50代にはつらい。当然、会員募集の足かせとなっている。

|   |                                                     |
|---|-----------------------------------------------------|
| D | 発表者 : 原田 雅式 様 ( 富津中央RC )<br>記録者 : 内田 稔 様 ( 木更津東RC ) |
|---|-----------------------------------------------------|



①現状認識 ( 職業奉仕の観点から、週一度の例会は役立っていると思うか？ )

②例会の意義 ( 何故、週一度の例会に集うのか？ )

- ・週一度友人に会えるので楽しみにしている
  - ・例会後に勉強会を開いているクラブもある
  - ・実際に異業種交流の場であり為になる
  - ・もう少しロータリーのことを勉強する場も欲しい
  - ・例会時の卓話、結婚、誕生など何分でも話したほうがいい
  - ・青木パストガバナーの言葉に「RCは人間形成の場である」
- 例会場 → 教室  
会費 → 授業料
- だから、週一度の例会は役に立っていると思う
- ・RCは実際は異業種交流だと思えるので1時間では時間が足りない
  - ・卓話の内容が新人からベテランまで色々な方の話が聞けるので楽しみ
  - ・RCはクラブ重視だから会長、幹事はロータリーの話を中心にしてもらいたい

|   |                                                     |
|---|-----------------------------------------------------|
| E | 発表者 : 内藤 芳夫 様 ( 袖ヶ浦RC )<br>記録者 : 白井 秋夫 様 ( 木更津東RC ) |
|---|-----------------------------------------------------|



- ①現状認識 ( 職業奉仕の観点から、週一度の例会は役立っていると思うか？ )  
 ②例会の意義 ( 何故、週一度の例会に集うのか？ )

- ・ 1 業種 1 名の原則は守るべき
- ・ 平均年齢を下げるために定年制を設けるべき
- ・ 若手会員の募集を行うべき
- ・ 退職している人から「何を以って職業奉仕したらよいのか」との質問があり、「今までの経験を伝えることでよいのではないか」との意見があった
- ・ ロータリーの権威は以前から比べると低くなっているが、入会時には推薦者の推薦が必要ということで権威を保っている
- ・ ロータリーの綱領や四つのテストを月 1 回でも朗読するクラブは袖ヶ浦RC だけであった
- ・ 異業種の人のお話を聞くことができ自己研鑽の為に例会に出席している
- ・ 月に 4 回昼間の例会に出席することが辛く実際には半分くらいしか出席できていない ( 夜に会合があるライオンズクラブに勧誘されている )
- ・ 袖ヶ浦RC は出席しやすいように月 1 回の夜間例会を設営している

|   |                                                    |
|---|----------------------------------------------------|
| F | 発表者 : 梶 暉芳 様 ( 木更津RC )<br>記録者 : 和田 昇 様 ( 富津シティRC ) |
|---|----------------------------------------------------|



- ①現状認識 ( 職業奉仕の観点から、週一度の例会は役立っていると思うか？ )

- ・ 職業奉仕とは何か、に結論がでない
- ・ 時代の進み方が早く 3 年ひと昔になっている
- ・ 四つのテストを仕事に活かす

- ②例会の意義 ( 何故、週一度の例会に集うのか？ )

- ・ 生活のリズムになっている
- ・ 例会が楽しい
- ・ ロータリー精神そのもの
- ・ 意見交換の場である
- ・ 仲間に会える
- ・ 出席が強制的だった

<グループディスカッションの様子>



|   |                                                   |
|---|---------------------------------------------------|
| G | 発表者 : 廣田 二郎 様 ( 君津RC )<br>記録者 : 鈴木 勝江 様 ( 袖ヶ浦RC ) |
|---|---------------------------------------------------|



①現状認識 ( 職業奉仕の観点から、週一度の例会は役立っていると思うか？ )

②例会の意義 ( 何故、週一度の例会に集うのか？ )

- ・ スケジュール帳に最優先に例会を記入している
- ・ 世代を超えて話ができる ( 専門バカから常識人へ )
- ・ 異業種の方の考え方の違いを教えられる
- ・ 例会や地区の開催行事に積極的に参加する
- ・ 100%出席は義務
- ・ 週一度の例会出席義務は厳しい ( FLEXになると良い )
- ・ 前任者からの引き継ぎで入会したが、社会の常識を知れるし世代を超えて話題が作れる
- ・ 同じ思いの仲間の話や卓話を聞けることでリフレッシュできている
- ・ 職業分類も大手企業から一人親方まで様々
- ・ 異業種の会員と対話することで話題ができる
- ・ 同一業種のみで生きてると新しいものを取り入れる能力に欠ける
- ・ 会員間の GIVE and TAKE が必要
- ・ 週一回の決められた例会日をフレキシブルにすると勧誘しやすい
- ・ 例会出席は義務から習慣へ

|   |                                                   |
|---|---------------------------------------------------|
| H | 発表者 : 田中 伸之介 様 ( 上総RC )<br>記録者 : 川名 正志 様 ( 君津RC ) |
|---|---------------------------------------------------|



①現状認識 ( 職業奉仕の観点から、週一度の例会は役立っていると思うか？ )

- ・ 一流の企業人に会える
- ・ 定年後に入会したため、役立っているかわからない
- ・ 直接大きな仕事をいただけることもある
- ・それほど商売に繋がっていない
- ・ 職業によっては昼間を仕事としているので出席できない。出席していると仕事でマイナスになってしまう
- ・ 企業人にしてみれば地元との交流を大切に思っている人はとけこみやすい

②例会の意義 ( 何故、週一度の例会に集うのか？ )

- ・ 例会日は社内で会議等の予定をたてない
- ・ 会社からロータリーに出席しているということを大切にしている
- ・ 目標、目的が一つであり会員が力を合わせられる
- ・ 様々な企業人と知り合える
- ・ 月に4回の出席はきついし、同じことの繰り返しだと感じることもある
- ・ 決して出席したくないわけではないが、出席できないこともある
- ・ クラブ奉仕委員会のメンバーになりどうしても出席しなければならなくなった

|   |                                                    |
|---|----------------------------------------------------|
| I | 発表者 : 坂井 健治 様 ( 木更津東RC )<br>記録者 : 黒岩 靖之 様 ( 君津RC ) |
|---|----------------------------------------------------|



- ①現状認識 ( 職業奉仕の観点から、週一度の例会は役立っていると思うか？ )  
 ②例会の意義 ( 何故、週一度の例会に集うのか？ )

- ・ 異業種の方の卓話は勉強になる
- ・ 異業種の方と知り合いになれる
- ・ 正しい意見が出し合える場所ではないか
- ・ 平等に付き合えることが仕事に繋がっている
- ・ 異業種の方の話を聞けることが楽しく、自分の視野も広がった
- ・ 毎週座席を変更していろいろな人と接することができるのが楽しい
- ・ 例会に出席しないと雰囲気も分からないし出席しづらくなってしまう
- ・ 親睦を深めるため月に1回は夜間例会にしている

|   |                                                   |
|---|---------------------------------------------------|
| J | 発表者 : 鈴木 貴志 様 ( 袖ヶ浦RC )<br>記録者 : 鈴木 荘一 様 ( 君津RC ) |
|---|---------------------------------------------------|



- ①現状認識 ( 職業奉仕の観点から、週一度の例会は役立っていると思うか？ )

- ・ ロータリーにはバランス感覚の優れた紳士が多いので、言葉や文字を読んで学ぶより、人を見て学ぶことで直接有意義な時間が過ごせる
- ・ お互いにそれぞれの会社がうまくいくように助けあう
- ・ 自分の仕事の範疇でなくても損得勘定抜きにした方と意見交換できる

- ②例会の意義 ( 何故、週一度の例会に集うのか？ )

- ・ 日頃のお付き合いからバランス感覚を身につけることができる
- ・ ひとりひとり仕事上孤独な人が多く、同じ境遇の人とバランスのとれた判断をしやすい
- ・ これから都市が大きくなっていく上でも外から入ってくる人たちとの協調性などを育む上でもなくてはならない組織であり警戒心を持たずに付き合える人たちである

### <卓話の様子>





## 地区職業奉仕委員長挨拶・まとめ



国際ロータリー 第2790地区

職業奉仕委員長

土屋 亮平 様  
(松戸ロータリークラブ)

国際ロータリー第2790地区第4分区ロータリー情報研究会の閉会にあたり、一言挨拶を申し上げます。

本年度のロータリー情報研究会は、北見洋司ガバナー補佐様のご指導の下、阿部昭広君津ロータリークラブ会長様を始めとする第4分区の皆様のご協力を戴き、情報研究会がこのような立派に終える事が出来ました事に対し、衷心より感謝申し上げます。

さて、本年度の織田ガバナーは、5大奉仕部門の内、職業奉仕が最も理論的であり、倫理的であると結論づけられました。そのような観点から、今後益々増えることが予想されるであろうR Iからの提示ならびに案件につきまして、各クラブがそれらについて独自に是是非非の判断を下す必要性が想定されます。それ等に対応すべく、各クラブの職業奉仕委員会の中に「クラブ研修委員会」を設置することを要望され、常日頃から研鑽を積んで頂きたいと、断つての要請でございます。

特に織田ガバナーは、今年度、各分区で開催されますロータリー情報研究会を地区の職業奉仕委員会が担当するように指示され、テーマも「私達は何故週一度ロータリーに集うのか」と示され、「出席なくしてロータリーなし」と言いますが、出席の重要性を再確認して真のロータリーライフを構築して頂きたいとの思いと拝察致します。

出席と申しますと、「これはクラブ奉仕の分野ではないのか?」「今更そんな当たり前のことを議論するのか?」等のご意見も聞きますが、ロータリークラブの定例会は、些か異にします。例会といっても、一連のセレモニー、食事、卓話、それ以外にロータリーの例会にはもっと深遠なものが存在しなければなりません。それを本日掴み取って頂きたいと思えます。それこそが、職業奉仕を理解する上での大前提であるからであります。

第4分区のロータリアンの皆様、今日の情報研究会は皆様にとってのロータリー情報研究会でした。

敢えて言わせて頂ければ、地区職業奉仕委員会の任務は、職業奉仕への道案内に過ぎません。

どうぞ、今日された活発なるご討議をクラブに持ち帰って頂き、楽しく、実り多いクラブ例会になりますことを期待致します。

混迷する社会で生き残る道は、唯一、職業奉仕の実践「大道無難」に尽きます。